

令和4年度 志教育全体計画

様式1

宮城県多賀城高等学校

校 訓

さとく ゆたかに たくましく

本校の教育目標

自己のもつ可能性を見いだしてその伸長と実現を図るとともに、真・善・美を追求し、常に広く調和のとれた教養を身に付けるよう努める。（さとく）
正しく自己を愛し、他をも愛する豊かな愛情を育て、社会に奉仕する精神を養い、互いに信頼しあえる誠実な人となるよう努める。（ゆたかに）
心身の健康こそは全ての生活の根源である。清潔で健康な生活を送ることを心がけるとともに、進んで心身を鍛え、明るく清くどんな困難にあってもくじけない強固な意志力と強靱な体力を身に付けるよう努める。（たくましく）

生徒の実態、教師の願い

- ・真面目で指導に対して素直に応えることができる生徒である。
- ・生徒達がもう一歩踏み出せる自発性を育み、第1志望を実現させたい。

保護者や地域の願い

- ・地域の拠点校として、部活動にも積極的に取り組みながら進学希望を叶える進学校であり、中学生の手本となる高校生像を実現する学校であるよう努めてほしい。

「志教育」の目標

- 1 自分の将来を見据え、進路希望について十分に調べるとともに計画的に学習に取り組み、進路希望を実現させる。
- 2 社会人としての基本姿勢を学習活動や学校生活、部活動を通して身に付けさせる。
- 3 自分やまわりの命を守る知識を身に付け、様々な状況に対応して危機を乗り切る力を育み、その方策を地域へ還元させる。

重点指導事項

人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」
・学校行事や探究学習等の活動を通して、他者の価値観や個性を理解するとともに自己理解を深めさせる。 ・探究学習への取り組みを通して、他者と協同して課題を解決していく方法について学び、地域や社会においてとるべき行動について考察させる。	・進路ガイダンスや進路講演会、社会人講話等を通して、生きがいややりがい、自己をいかせる生き方や進路について考えさせる。 ・探究学習を通して、自ら課題を解決するための方策を考え、主体的に学習へ取り組み態度を育む。 ・通学防災マップの作成や防災講話を通して、自らの命を守るための知識を身に付けさせる。	・学校行事におけるクラスでの役割や委員会活動を含む生徒会活動を通して、自分が果たすべき役割を自覚し、責任を果たすことができるようにする。 ・地域や社会の安全のために自ら学んだ知識を還元できるよう、諸活動に主体的に取り組ませる。

各教育活動における取組の観点

各教科	・学習内容と将来の生き方の関わりや知識・技能の活用の仕方を指導し、学ぶ面白さや楽しさを伝える。 ・学びを通して培われる能力や態度の意義を指導し、進路希望の実現を図る。
道徳	・人間としての在り方、生き方に関する教育を学校の教育活動全体を通して行い、豊かな心と健やかな体を育成する。
総合的な探究の時間	・探究学習を通して自ら課題を解決するための方策を考え、主体的に学習へ取り組み態度を育む。 ・進路意識を喚起し、主体的な学習姿勢を身に付けさせるとともに、成果を自己評価させて継続的な学習サイクルを確立させる。 ・社会人講話等を通して職業観の育成を図り、進路希望の実現へつなげる。
特別活動	・ホームルームや学校における集団活動や主体的かつ自立的な生活を送ることの意義を理解し、そのために必要となることについて理解し身に付けるようにする。 ・ホームルームや学校及び自己の生活、人間関係をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 ・ホームルームや学校における集団活動を通して身に付けたことを生かして、人間関係をよりよく形成し、他者と協働して集団や自己の課題を解決するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、その実現に向けて、主体的に日常生活の向上を図ろうとする態度を養う。
その他	・明るく元気な挨拶と制服の正しい着こなしを励行し、より良い高校生像を体現させる。 ・校内清掃を徹底して行い学習環境を整備するとともに、通学路や近隣の公園での清掃等に取り組み、地域への公共心を養う。

家庭との連携

PTA活動や学校評価、学校公開などの機会を通して情報を共有し、信頼関係を築くことで、生徒の希望を実現させる。

各学年の取組内容

1年	・高校生活の入り口として、学習と部活動の両立を図るため学習計画シートにより見通しを持たせ、主体的に生活できるよう指導する。 ・オープンキャンパスに積極的に参加して上級学校の雰囲気を感じ取らせ、社会人講話や進路講演会等を通して自己の職業観を育成する。 ・探究学習を通して、協働して課題へ取り組みながら他者の価値観や個性を理解させるとともに、自己理解を深め、表現力を養うことができるよう指導する。 ・通学防災マップの作成や、防災講話や防災避難訓練を通して、日常において自らの命を守るための知識と心構えを身に付けさせる。
2年	・高校生活の中間地点として、主体的かつ計画的に学校生活を送ることで文武両立の実現を図る。 ・進路講話や進路ガイダンス、アカデミック・インターンシップを通して、進路希望の方向性を明確にできるよう指導する。また、学問研究を通して、自分自身の進路に応じた学問内容の理解を深めるとともに、志望理由書の作成や小論文講座に取り組み、進路希望実現への心構えを育成する。 ・探究学習や研究発表会を通して、他者の価値観や個性を理解するとともに、自己理解を深めることができるよう指導する。 ・防災ワークショップや防災講話、防災避難訓練を通して、災害時に身を守るための知識と心構えを学習させる。
3年	・高校生活の仕上げとして、進路ガイダンスを通して将来の自分の生き方を明確にし、大学見学会やオープンキャンパスに積極的に参加することで進路希望を確定させ、粘り強く取り組むことで進路希望を実現できるよう指導する。 ・将来の自分の生き方を明確にすることで進路希望を確定するとともに、進路希望実現に向けた各自の探究学習に取り組むことで意欲を高めさせる。 ・防災避難訓練や外部講師による特別授業等を通して、災害時において求められる行動の在り方に関する知識と心構えを学習させる。

地域・企業との協働

社会人講話や部活動における貞山公園清掃ボランティア、津波波高標識設置活動、シンポジウム、科学実験教室への参加などを通して校外の人物と交流し、社会人としての基盤を作る。